

平成20年11月4日

各 位

上場会社名 鈴縫工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 鈴木 一良
 (コード番号 1846)
 問合せ先責任者 常務取締役 遠藤 正伸
 (TEL 0294-22-5311)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月19日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,700	80	50	△30	△2.86
今回発表予想(B)	6,197	△50	△75	△208	△19.95
増減額(B-A)	△503	△130	△125	△178	――
増減率(%)	△7.5	――	――	――	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	5,912	29	△2	△164	△15.57

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	――	――	――	――	――
今回発表予想(B)	――	――	――	――	――
増減額(B-A)	――	――	――	――	――
増減率(%)	――	――	――	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	――	――	――	――	――

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,900	10	△10	△40	△3.81
今回発表予想(B)	4,933	△28	△50	△258	△24.73
増減額(B-A)	△967	△38	△40	△218	――
増減率(%)	△16.4	――	――	――	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	4,890	△31	△52	△154	△14.56

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,500	210	170	60	5.67
今回発表予想(B)	12,500	240	200	20	1.91
増減額(B-A)	0	30	30	△40	――
増減率(%)	0.0	14.3	17.6	△66.7	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	12,572	318	263	88	8.38

修正の理由

1.第2四半期累計期間

(1)特別損失の計上について

個別決算において、子会社である(株)スイシンが、平成18年10月より新規事業として行っている食料品事業において、原材料諸資材の高騰及び売上代金の回収遅延等により業績が悪化し、生産を一時休止することを11月4日に決定したことに伴い、関係会社株式評価損として30百万円、関係会社長期貸付金に対する貸倒引当金繰入額として130百万円、債務保証損失引当金繰入額として66百万円を特別損失に計上いたします。

なお、連結決算においては、(株)スイシンが上記のとおり食料品事業の生産を一時休止することを決定したこと等に伴い、減損損失104百万円を特別損失に計上いたします。

(2)連結業績については、売上計上見込工事の第3四半期へのずれ込みによる売上高の減少及び子会社業績の悪化により営業損失50百万円、経常損失75百万円となり、また、上記(1)の「特別損失の計上について」に記載のとおり、減損損失104百万円を特別損失に計上するため、当四半期純損失が208百万円となる見込みであります。

(3)個別業績については、連結業績と同様の理由により、売上高4,933百万円、営業損失28百万円、経常損失50百万円となり、また、上記(1)の「特別損失の計上について」に記載のとおり、特別損失を計上するため、当四半期純損失が258百万円となる見込みであります。

2.通期

(1)連結業績については、当初予想通りの見込みであります。

(2)個別業績については、売上高は当初予想通り推移する見込みであり、工事利益率が改善し、営業利益、経常利益が増加するものの、上記の特別損失の計上により当期純利益は、当初予想より減少する見込みであります。

(注)業績予想につきましては、現時点において合理的と判断するデータに基づいて作成しており、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績は予想値と異なる可能性があります。

以 上